# 事業名 食品口入削減推進計画策定事業 実施計画事業の一般事業 実施計画事業の一般事業 実施計画事業 市長公約 1-⑥ 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトラティ 該当なし スマートシティ 該当なし

### 1. 基本情報

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	担当組織	課	環境政策課		- 食品□ス削減推進計画策定事業	予算	款	4	新規or継続	継続事業
		係	クリーン推進	係	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	食品ロスの削減の推進に関す		開始年度	令和4年度	実施方法	直営
IXWA	IXXX PTVIX	政策	1	理性にあるしいまたづくり	る法律		終了年度	令和6年度	事業分類	計画策定·管理事業
		施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用	W/AIT			-		

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

合 5

食品ロスの削減の推進に関する法律に基づき、食品ロス削減推進計画を策定する。計画の策定に向け、本市の食品ロスの実態を把握するため、令和4年度は家庭系の、令和5年度は事業系の食品ロスの実態調査を実施した。令和6年度は庁内の策定委員会及び庁外の策定懇談会を組織し、関係課や市民各層の意見を伺いながら計画原案を策定する。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	市民及び事業者が食品ロス削減の意義を理解し、食品ロス削減	食品ロス削減に取り組む市民の割合	%					
(本事業に	のための具体的な取組を行う。							
よって成し 遂げたい								
状態)	※目標値の設定は計画策定の過程で行う。							
<i>5</i> (10.)								

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(=),112	324,2	(=) /1120 (200 /1) (02/112)	,,,,,	3 2142 4 23	-1/	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 食品関係事業者への食品ロスに関するアンケート調査を実施し、 (R5年度に 食品製造業、卸・小売業、外食産業の食品ロスに対する意識や耳		家庭系食品口入実態調査 回 1	1			
		事業所アンケート調査				1
、 行った主な活 動内容)	良血器 に対して はずい 元素、 かた 産業の 良血 ロスに 対 9 つ 息 職 で 取組 について 調査を行った。	事業費計	千円	0	0	0
到(1)台)		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

# (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
41			食品ロス削減に取り組む市民の割合	%		44.0	42.9	値が大きいほど良い	効果が下がった
	果説明	今日間返車学老4の今日ロフに関するマンケート調査を実施した							
•	E量及び 定性)	食品関係事業者への食品□スに関するアンケート調査を実施した。							
	~[1]								

# (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和4年度の家庭系食品□スの実態調査結果及び令和5年度の事業系食品□スの実態調査結果から伺える本市の実情を踏まえた計画を策定する。

# (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------------------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

### 取組説明

令和6年度は庁議、庁内関係課、庁外の市民各層代表による懇談会、市議会の意見を伺い、またパブリックコメントでも意見を伺いながら計画を策定し、以降計画の進捗・管理を行っていく。

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 令和6年8月2日

17.2	OD 1/11			./\/\/\						
事業名	清掃総務	8事務		実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
J VIV II	14100-1-1-0			施策横断的な取組との関連性						該当なし
1. 基本情										
	部 市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度		
担当組織	課	環境政策課		清掃総務事務	予算	款		新規or継続	継続	
	係	クリーン推進化		101hl)+ A A Tubb	科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関		開始年度	平成17年度		直	
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり ごみの発生抑制と資源の有効活用	する法律		終了年度		事業分類	その他内部	争務争耒
	心來	1	このの先生抑制と負派の有効心用		]					
<b>2. 事業</b> (1)事業		ひび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	一般財団法	去人日本環境	衛生センター主催する実務者講習の受講	i.						
(2)目的	勺			(3)目標値						
	<u>-</u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				事業が停止した日数	日	0	0	0	0	0
(本事業に よって成し	事務職員が清掃事務を滞りなく実施できるようにする。									
遂げたい										
状態)									<b> </b>	
<b>3. 前年</b> 原(1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	<sup>:</sup> ータ及て	が事業費の	推移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
					人	2	2	2		
活動実績				一般廃棄物処理施設管理技術講習会参加	人	0	0	0		
(R5年度に		+ <del> </del>	後ナムシカー ・一定字数字課羽も英謀							
行った主な活	一般財団法人日本環境衛生センター主催実務者講習を受講 			事業費計	千円	0	158	0		
動内容)					千円	0	158	0		
						0	130	0		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 汪重	 動による効果			(4)事業効果を説明する数	が値デー	クの排移			↓選択して	下さい
(3)/白書	MCROXIX			効果指標	単位	R3	R4	R5	☆選がして	
				事業が停止した日数	B	0	0	_		効果は変わらない
効果説明	=#33 <u>0</u> \$	п								
(定量及び 定性)	講習会参加	Ц								
~==/										
(5)費月	用対効果結果	果(自動判定	Ē)							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標			***********	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が	らない指標数 った指標数	1指標 0指標		費	費用は下がった		0		
指標値増減)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				
	<b>度に向けた核</b> 日 5 年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用:	対効果[	句上のための	D課題			
例年どおりE	日本環境衛	生センター実務	务者講習を確実に2人受講する。							
(2) 上語	己反省点及征	び課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)							
<del>-</del>			事務改善の検討		=# nn*	=##				
	事業費の見 業務時間效		)事務改善の検討	日本環境衛生センター実務者	講習党	再				

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成·更新日 令和6年8月2日 事業名 全国都市清掃会議関東地区協議会参画事業 該当なし 総合戦略 該当なし 一般事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 市民生活部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般 事業計画 担当組織 課 環境政策課 予算 款 4 新規or継続 継続事業 全国都市清掃会議関東地区協議 クリーン推進係 会参画事業 科目 項 2 市単独or国県補助 市単独事業 係 任意的事業 体系コード 名称 根拠法令、条例等 1 義務or任意 611 目 平成17年度 直営 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 開始年度 実施方法 政策体系 廃棄物の処理及び清掃に関 終了年度 参画事業 政策 1 環境にやさしいまちづくり 事業分類 する法律 施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 全国都市清掃会議の下部組織、全国都市清掃会議関東地区協議会への参画事業 (2)目的 (3)目標値 当該協議会に関係する市職員等が、関東地区の廃棄物処理事 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 日的 業を実施している市区町村等からの最新情報の取得により技術の 会議等への出席延べ人数 (本事業に 向上を図る。 \_\_ 会議等への出席率 % よって成し 遂げたい ※市が主体となって行う事業ではないため目標値の設定はない。 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 R4 R5 活動指標 会議等の開催回数 3 (市の活動) 3 会議等への出席回数 1 協議会の総会に回答(書面)。東ブロック清掃行政研究会 活動実績 (web)、実務研修会(web)に参加。 (R5年度に 行った主な活 (全国都市清掃会議関東地区協議会の活動) 0 事業費計 千円 0 0 動内容) 総会の開催、年2回の研修会等の開催、廃棄物処理事業に関 千円 0 0 一般財源 n する情報収集と会員への情報提供、国・県への要望活動。 特定財源(国・県・他) 千円 千円 (うち受益者負担) (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (3)活動による効果 ↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
++ cm =+ nn		会議等への出席延べ人数	人	1	1	3	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	当該協議会に係る会議等への参加は総会(書面)、東ブロック	会議等への出席率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び 定性)	清掃行政研究会(web)、実務研修会(web)となっている。							
X-11-)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

当該協議会の研修会等の参加により、職員の清掃業務における技術の向上を図る。

(2) ⊢	- 司后坐占137	<b>洋理題を踏まえた</b>	<b>今和6年度</b> 7	37 KAM 7	年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

ᄪᅲᇶ	╕┋╩╏┞
HV	银光炉

技術向上を目指し、研修会等へ確実に参加する。

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成・更新日 令和6年8月2日

事業名	全国都市	5清掃会讓	<b>姜参画事業</b>	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本	情報										
担当組織	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し	
	課	環境政策課		-   全国都市清掃会議参岫事業	予算	款	4	新規or継続	継続	事業	
	係	クリーン推進	係		科目	項	2	市単独or国県補助	市単独	虫事業	
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業	
政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	   廃棄物の処理及び清掃に関		開始年度	平成17年度	実施方法	直	営	
TXXK PTVK	政策	1	環境にやさしいまちづくり	する法律		終了年度		事業分類	参画	事業	
	施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用	) WAIT							

### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

事業概要

全国の廃棄物処理事業を行う市区町村等を会員とする全国都市清掃会議への参画事業。会の目的は、全国の地方公共団体が行う清掃事業の効率的な運営及び技術の改善のために必要な調査、研究を行い、清掃事業の円滑な推進を図り、住民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に資すること。

(2)目的

(3)目標値

		当該団体に関係する市職員等が、全国の廃棄物処理事業を実	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		施している市区町村等からの最新情報の取得により技術の向上が	会議等への出席延べ人数	人					
(本事業によって成し		図られている。	要望書の提出案件数	件					
	C放し がたい	当該協議会が廃棄物処理事業に関する国等への要望書を提出							
	態)	し、課題の解決に取り組んでいる。							
		※市が主体となって行う事業ではないため目標値の設定はない。	_						

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/03	3242	(= ) /1130 CD0 /3 / 03/(11)	,,,,,	3 7 ( 2 ( - ) 3	H 17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容)	(市の活動)	会議等の開催回数		2	2	2
	全国都市清掃会議に負担金を支出。総会(書面)への回答。 廃棄物処理プラント保険への加入。 (全国都市清掃会議の活動)	会議等への出席回数		2	2	2
		事業費計	千円	104	104	104
到四分分		一般財源	千円	104	104	104
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

# (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	+L CD = 14 0 0		会議等への出席延べ人数	人	2	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明		当該団体に係る会議等への参加は、総会及び臨時総会の2回	要望書の提出案件数	件	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	(定量及び 定性)	で、要望は通常年1回となっている。							
	ÆIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し				
効果	効果が上がった指標数	0指標				
	効果は変わらない指標数	2指標				
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標				
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない				

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

当該団体が行う国への要望の機会を捉え、本市の要望も確実に組み入れたものとする。

# (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、位	木止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------	-----	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

TT-//	=14 00
印料	訊明

- ①会議等への参加
- ②要望活動への参画
- ③関係情報の取得

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

業名	伽小小乐/	9/押事来没	<b>퇃絡協議会参画事業</b>	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な
	1			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当
. 基本	情報					•				
	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	
当組織	課	環境政策課		│ - 栃木県清掃事業連絡協議会参画事業	予算	款	4	新規or継続		事業
	係	クリーン推進			科目	項	2	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	611		根拠法令、条例等		目	_	義務or任意	任意的	
<b>牧策体系</b>	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関			昭和43年度			営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり	する法律		終了年度		事業分類	参画	事業
2. <b>事業</b> (1) 事業		」 とび(基本計	ごみの発生抑制と資源の有効活用  ・画期間内)  目標値		I					
事業概要			組合を会員とする栃木県清掃事業連絡協 生活環境の向上に寄与すること。	議会への参画事業。会の目的は	は、清掃	事業に関す	る知識と技	術の向上を	図り、清掃	事業(
(2)目的	的			(3)目標値						
	当該協議	会に関係する	 る市町等職員が、清掃事業についての他市	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R
目的 (本事業に			を取得し、技術向上を図る。	会議等への参加延べ人数	人					
(本事業に よって成し	. J. G-0/1///	5 ( 4×171111+1X		会議等への参加率	%					
遂げたい	※市が主体	となって行う	事業ではないため目標値の設定はない。							
状態)										
						ļ				ļ
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	惟移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	(-1>-	-11		会議等の開催回数	回	2	3	3		
	市の活		15-W 0 1-5-15-0 1-5-11- (/) 0 -5-15-0 1-	△====================================						
括動実績		<b>掃事業連絡</b>	協議会に負担金を支出。総会、研修会に	会議等への参加回数	回	2	3	3		
R5年度に	≥/JH°	±+3 亩 ₩ '亩 巛	路協議会の活動)							
うった主な活			â励歳云の酒勤) 清掃事業等に関する情報収集と会員への	事業費計	千円	7	7	3		
動内容)	情報提供の		相称事業寺に関する旧報収集C五負への						Į.	
	IH+KJÆ IKV			一般財源	十円	7	7	3		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 注制	動による効果			(4) 事業効果を説明する数	が直デー	カの堆段			↓ ↓選択して	┌┰⋨
(3) /□3	ENICO SYNT			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				会議等への参加延べ人数	人	3		5		効果は変
効果説明	当該団体	主催の研修	会等への参加や情報の取得により、清掃	会議等への参加率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変
(定量及び 定性)	業務に関す	る技術の向_	上が図れている。							
ƌ)										
(5)費用	T対効果結!	果(自動判定	官)							
	5とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		1
効果	効果が上がった指標数   0指標		ハ エ ロ / ココックエッショル州にみソキリ四川			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
メリ <del>オ、</del> (R5とR4の		らない指標数	2指標		費	費用は下がった				
旨標值増減)	効果が下か	りに担信数 指標全体	<u>0指標</u> <b>効果は変わらない</b>		用	費用の増減無し		O		
	<b>隻に向けた</b> 検 和 5 年度の	討	ける反省点、環境変化や関係者からの意	┛	対効果に		の課題			ı
. = 7 121	, /2-7-		積極的に活用することが必要	and the second s	27,37101					

取組説明

会議等への確実な参加

作成•更新日 令和6年8月2日

事業名 3R推進事業 実施計画事業のr一般事業 実施計画事業 市長公約 1-⑥ 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

#### 1. 基本情報

Ī		部	市民生活部	3	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	環境政策課		3R推進事業	予算	款	4	新規or継続	継続事業
		係	クリーン推進	係	3内田歴事業		項	2	市単独or国県補助	市単独事業
Ī		体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	1美しい日然、環境と調和19 るまり バリ	佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、佐野市リサイクルプラザ条		開始年度	平成9年度	実施方法	直営
	TXW MYN	政策	1	エ罒ナきにぬ+しいまたづノり	例、佐野市不用品再使用情報提供	期間	終了年度		事業分類	啓発事業
		施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用	車綱					

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

3

事業概要

3 Rの趣旨に基づき、家庭及び事業所から排出されるごみの減量化を図るとともに、ごみ分別の周知や再利用の必要性をPRするため、ごみ分別アプリの提供と各種3 R講座を開催する。また、リサイクル製品の整備、廃食用油等の拠点回収を実施し、ごみの減量化及び再資源化を図る。

① 3 R 啓発・関連イベント実施・参加等(みかも 3 R イベント、ごみ分別排出説明会の実施、再生品展示提供、各種リサイクル講座)

②リサイクルプラザ業務(小学生・一般市民等施設見学)

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	市民及び市内の事業者が排出するごみが減量化され、リサイクルの	ごみ減量化、3 R に取り組んでいる市民の割合	%	63.0	65.0	66.0	67.0	68.0
(イ・ナーメーに	意識が向上する。また、ごみ問題が十分に理解され、3 R への取組	1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	850.0	890.0	885.0	840.0	820.0
	意識が同工する。 また、この同題が 1 分に主牌され、3 Kへの取組 が実践されている。							
状態)	が大成されている。							
,								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

#### (1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

( 1 / / 11 3	2220120		///	ナベデッ	H 17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
	リサイクルプラザ利用者数	人	695	1,310	1,624	
V-21 /	活動実績 みかも3 Rイベントの開催(3回)、イオンSDGsイベントへの参加 一	講習会·説明会等参加者数	人	11	399	281
活動美績 (R5年度に		ごみ分別排出説明会件数	件	3	5	4
		事業費計	千円	446	729	6,111
#JF 1 <del>G</del> 7)		一般財源	千円	446	729	6,111
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

# (3)活動による効果

# (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明	브
(定量及び	
定性)	人

3 Rに取り組んでいる市民の割合は下がってしまったが、1人1日 当たりのごみ排出量は減少している。

コロナ禍で抑制されていた社会・経済活動が正常化する中での1 人1日当たりのごみ排出量減少は事業の効果と考える。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ごみ減量化、3 R に取り組んでいる市民の割合	%	64.8	60.8	59.3	値が大きいほど良い	効果が下がった
1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	878.0	884.0	861.0	値が小さいほど良い	効果が上がった

# (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		$\circ$	

# 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市議会では循環型社会の形成に向けたさらなる取組を求める意見があるため、食品ロス削減や廃油回収など今後も継続して取り組むべき課題と捉え、3 R に取り組む市民の割合を増やすため、より効果的に啓発活動を実施していく必要があると考える。

また、令和5年度の事業費が増加したが、その要因は正職員1名の退職を会計年度任用職員1名で補充したため、その人件費が増となったことによるものと、廃食用油回収場所増設に伴う回収ボックスの購入費用 増によるものとなっている。

# (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

### 取組説明

- ①生ごみ削減強化月間(10月)など機会を捉えた食品ロス削減の取組の強化
- ②廃食用油回収場所の増設
- ③新たな講座や民間事業者と連携した啓発活動など新規の取組の検討

事業名 家庭用生ごみ処理機器普及事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

### 1. 基本情報

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	環境政策課		   家庭用生ごみ処理機器普及事業		款	4	新規or継続	継続事業	
		係	クリーン推進	係	<b>水灰用土C0/灰柱城份自从手来</b>	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	611	名称	原ごみ集団回収報奨金制度事		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	 		開始年度	昭和63年度	実施方法	直営
TXXX HVX	政策	1	理控にやさいまたづくり	器設置費補助金交付要綱		終了年度		事業分類	現金等給付事業	
		施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

(1) 尹未1003

|① 「佐野市家庭用生ごみ処理機器購入費補助金交付要綱」に基づき、機器を購入した市民に対し、申請により購入費の一部を補助する。

・処理機(1世帯1台まで)は補助率1/3(上限3万円)・処理容器(1世帯2器まで)は補助率1/2(上限1器5千円) ②「バクテリアdeキエーロ」の周知・啓発

・キエーロの販売・キエーロ制作ワークショップの開催

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	市民による生ごみの自家処理量の増加を図る。	生ごみの自家処理量	kg			9052.0	9052.0	9052.0
(本事業に		生ごみ処理機器を利用している市民の割合	%					
よって成し 遂げたい	※生ごみ処理機器の利用率の目標値は食品ロス削減推進計画							
状態)	策定の過程で行う。							
<i>5</i> (13.)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

#### (1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1//⊔±	50大慎		7/20	于未只约	<b>エ</b> リン	
活動実績 (R5年度に 行った主な活	・補助金交付件数 60件	活動指標	単位	R3	R4	R5
	・補助対象機器数 63機器(電気式27機器、コンポスト19器、 EM容器2器、キエーロ15器	補助件数	件	64	53	60
	・イベントや再生品展示提供時にポスター掲示や展示などのPRを	イベント等での展示説明		1	5	4
	行った。 ・リサイクルプラザ内に常設展示し、生ごみ減量のための活用周知を	キエーロワークショップ		0	2	1
	*リリイグルノブリ内に吊政展示し、生こが減量のための活用向知を図った。	事業費計	千円	593	556	741
≢)/r 1 <del>/⊆</del> /	・キエーロ普及のためのワークショップをイオンSDGsイベントにて実施	一般財源	千円	593	556	741
	した。 - ・小学生の施設見学時に説明を行い、家庭での導入について啓発	特定財源(国·県·他)	千円			
	を行った。	(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

	60
効果説明	る。
(定量及び	<i>-</i>
定性)	_
/	115

生ごみの処理機器の普及啓発活動により補助金の交付件数は 60件前後で推移しており、生ごみの自家処理量増加に繋がっている。

生ごみ減量化を図っている市民の割合は、市政アンケートでは減少したが、1人1日当たりのごみ排出量は減少し、生ごみ処理機器の購入補助件数も増加している。

ţ	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
١,	生ごみの自家処理量	kg	9,344	7,738	8,760	値が大きいほど良い	効果が上がった
	生ごみ処理機器を利用している市民の割合	%	10.5	10.0	9.2	値が大きいほど良い	効果が下がった
戓							
<u> </u>  -							

# (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

生ごみ処理機器の取扱店の紹介やPRを継続し、補助金制度の周知と利用者の更なる増加を図る。

また、現キエーロ製作者の令和7年度からの制作引受辞退に伴うキエーロの受注を継続するための手段(作成業務委託等)を検討する。

なお、補助件数増加に伴い費用(補助金額)は増加するものである。

# (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止 な	kir 再編成	受益者負担の目直	しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

### 取組説明

①生ごみ処理機器販売店への補助制度周知チラシの掲示依頼②生ごみ処理機器取扱店の周知徹底③各家庭において生ごみを自家処理することのメリット周知④導入にあたる補助制度の周知徹底⑤キエーロの受注を継続するための手段の検討

仕事	仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成・更新日 令和6年8月2日									
事業名	環境衛生	<b>上委員会支</b>	<b>泛援事業</b>	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	•			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		T					ı		1	
+C \1/ 6 C 6 6 6 6	部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織	担当組織 課 環境政策課			環境衛生委員会支援事業	予算	款	4	新規or継続 市単独or国県補助	継続	
	係 体系コード	クリーン推進 <sup>を</sup> 611	名称	根拠法令、条例等	科目	項 目	1	義務or任意	円 年 2 任 意 的	虫事業 切事業
	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり			開始年度			直	
政策体系	政策		環境にやさしいまちづくり	佐野市環境衛生事業運営		終了年度	干成13年及	事業分類		事業
	施策		ごみの発生抑制と資源の有効活用	交付金交付要綱		<b>松 ] 牛皮</b>		尹未刀叔	又]友	尹未
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要  各町会の環境衛生事業を行う団体に交付金を交付し、各町会の自主的な環境衛生活動を支援する。  * 本交付金は「佐野市環境衛生事業運営交付金交付要綱」の規定に基づき交付する。  * 交付する団体は、各町内のごみステーションの管理運営、分別排出指導監視、環境美化活動等の環境衛生事業を行う団体であり、各町会の住民により構成されている。交付金額=10,000円(均等割)+(315円×世帯数)									
(2)目的	κ <sub>1</sub>			(3)目標値						
(2) 🗆				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				ごみ減量化や3 Rに取組んでいる市民の割合	%	63.0	65.0	66.0	67.0	68.0
(本事業によって成し	市民による	ごみステーショ	ンの適切な管理と正しいごみの分別排出が	1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	850.0	890.0	885.0	840.0	820.0
遂げたい	行われるよ	うになり、ごみの	D減量化や3 Rの取組が実践される。							
状態)										
3. 前年B (1)活動		活動及び費用	<b>引対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	「事業費の	性移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				環境衛生事業活動団体の数	団体	167	167	167		
	(市の活動	<b></b>								
活動実績	各町会の	環境衛生事業	業を行う団体に対して交付金を交付した。							
(R5年度に			と出を指導するための説明会を開催した。							
行った主な活動内容)		交付団体の活 マのズンフェーン		事業費計	千円	15,366	15,360	15,327		
±0/ 1□/			ションの管理、分別排出確認・指導、環境 事業を実施した。	一般財源	千円	15,366	15,360	15,327		
		于小水池用工	子来と大胆のた。		千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	<u>.</u> 動による効果	<u> </u>		(4)事業効果を説明する数		リータの推移	<u> </u>	<u> </u>	」 ↓選択して	下さい
(0) / 11	23.20.00000	•		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+L ED =V 85	3 Rに取	り組んでいるす	市民の割合は下がってしまったが、1人1日	ごみ減量化や3 Rに取組んでいる市民の割合	%	64.8	60.8		値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明 (定量及び		り排出量は減		1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	878.0	884.0	861.0	値が小さいほど良い	効果が上がった
(疋里区()		ポロ生リナヤフィン	たサム・奴文活動が正常ルオスカスの1				1			

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
*********	3 Rに取り組んでいる市民の割合は下がってしまったが、1人1日	ごみ減量化や3 R に取組んでいる市民の割合	%	64.8	60.8	59.3	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明 /宝星形が	当たりのごみ排出量は減少している。	1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	878.0	884.0	861.0	値が小さいほど良い	効果が上がった
(定量及び 定性)	コロナ禍で抑制されていた社会・経済活動が正常化する中での1							
LIL)	人1日当たりのごみ排出量減少は事業の効果と考える。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
(551515	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市の役割である交付金の交付と適正支出の指導を適切に行う。

(つ) ⊢	・記反省占及が課題を踏ま	ラた 今和らた	〒安乃バ今和フ	午度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

H0 %H = H DH
DY THET UH

現状維持(従来通り実施)

作成・更新日 令和6年8月2日

事業名 環境衛生委員協議会支援事業			実施計画事業or一般事業	<u>—</u> я	股事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本	1. 基本情報									
	部	市民生活部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し	

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	環境政策課		- 環境衛生委員協議会支援事業	予算	款	4	新規or継続	継続事業
		係	クリーン推進	係	· 保况倒工安良励磁云又扳事来	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
	体	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策休系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり			開始年度	平成15年度	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり	佐野市補助金等交付規則		終了年度		事業分類	支援事業	
	施等	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用				-			

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

(1) 尹未1003

|佐野市環境衛生委員協議会に交付金を交付するとともに、協議会の事務局として、環境衛生の向上に関する市民活動を支援している。

※佐野市環境衛生委員協議会とは、住民の自主的な地域環境衛生組織活動を推進し、また、市の行う環境衛生事業への協力を行い、循環型社会の形成を 図ろうとする団体である。環境衛生委員(167名)により構成されている。

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	<u> </u>	ごみ減量化や3 Rに取組んでいる市民の割合	%	63.0	65.0	66.0	67.0	68.0
(本事業に		1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	850.0	890.0	885.0	840.0	820.0
よって成し 遂げたい								
状態)								
5 (101)								

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(2) 11337(1)		(=) (=)	,,,,,	3 7 (2 ( ) )	H 17	
(R5年度に 行った主な活動内容) /		活動指標	単位	R3	R4	R5
	(市の活動)	会議の開催数	回	15	16	20
	事務局の事務を行った。 (環境衛生委員協議会の活動)	視察研修の参加者数	人	0	0	52
		職務事務研修会参加者数	人	54	41	91
		事業費計	千円	9,079	9,079	10,982
		一般財源	千円	9,079	9,079	10,982
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	+1 cm = 14 nn		ごみ減量化や3 Rに取組んでいる市民の割合	%	64.8	60.8	59.3	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明 (定量及び 定性)		1人1日当たりのごみ排出量(単年度)	g	878.0	884.0	861.0	値が小さいほど良い	効果が上がった	

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
か田	効果が上がった指標数	1指標
(R5とR4の	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果							
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった					
I	費	費用は下がった								
ı		費用の増減無し								
	用	費用が増加した		0						

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市の役割である環境衛生委員協議会を支援するための交付金の交付手続きと事務局の事務を適切に行っていく必要がある。なお、費用の増加はコロナ禍で実施を見送っていた視察研修会に係る費用による。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた	今和6年度及75字和	7 年度の取組

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

H0 %H = H DH
DY THET UH

現状維持(従来通り実施)

作成•更新日 令和6年8月2日

事業名 資源ごみ集団回収報奨金制度事業	<b>奨金制度事業</b> 実施計画事業or一般事業 一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報						
部市民生活部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し

担当組織		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	環境政策課		資源ごみ集団回収報奨金制度事業	予算	款	4	新規or継続	継続事業	
	係	クリーン推進係		貝派との集団四収報楽並削及事業		項	2	市単独or国県補助	市単独事業	
		体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	佐野市資源ごみ集団回収報		開始年度	平成元年度	実施方法	直営
	以來冲示	政策	1	理性にわさいまたづくり	受金交付要綱		終了年度		事業分類	現金等給付事業
		施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用	关证文门支标					

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

事業概要

| 資源ごみ集団回収を行った団体に対し、回収重量に応じて報奨金を交付することにより、ごみの再資源化を促進させ、循環型社会の形成を推進する。

(2)目的 (3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

市民による資源ごみの集団回収が促進され、市民のリサイクル意識の向上を図り、資源ごみのリサイクル量を増やす。

※集団回収量は減少傾向にあるため目標値は直近の令和4年度を参考に900tとした。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
資源ごみ集団回収量	t			900.0	900.0	900.0
再生利用率(再生利用料/ごみ総排出量)	%	22.0	13.0	13.5	20.0	22.0

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

#### (1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

			7/20	ナ未只の	<b>エ</b> リン	
1		活動指標	単位	R3	R4	R5
		資源ごみ集団回収登録団体数	団体	112	107	101
	・実施回数 101団体 487回、回収重量 779,765kg (R4実績 107団体 491回、回収重量961,202kg)	資源ごみ集団回収実施回数		502	491	487
行った主な活動内容)		事業費計	千円	4,336	3,859	3,343
		一般財源	千円	4,336	3,859	3,343
	その他 2,980kg	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

# (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性) 高齢化やスーパーマーケットでの資源ごみ回収により、集団回収の実施団体数、実施回数及び回収量は減少傾向にある。それに伴い、みかもクリーンセンター及び葛生清掃センターに持ち込まれる資源ごみの量が減少し、再生利用率も下がっている。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	l
の	資源ごみ集団回収量	t	1112	961	780	値が大きいほど良い	効果が下がった	
<u> </u>	再生利用率(再生利用料/ごみ総排出量)	%	12.2	10.9	10.5	値が大きいほど良い	効果が下がった	
į								
								l

# (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5とR4の一般財源増減)		費用は下がった	
効果	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下がった指標数	2指標	
	指標全体	効果が下がった	

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			0
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

高齢化や感染症の影響、またスーパーマーケットでの資源ごみ回収により、集団回収の実施団体数、実施回数及び回収量は減少傾向にある。それに伴い、みかもクリーンセンター及び葛生清掃センターに持ち込まれる資源ごみの量が減少し、再生利用率も下がっている。

キロ当たりの報奨金を増額するなど、制度見直しの検討が必要となっている。

# (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

		,
ᆸᄶᄯ		掤
ロス小	ᅥᇬ	և Կ/յ

キロ当たりの報奨金を増額するなど制度の見直しを検討